

2019 年度国際研究会

近世都市の災害と自然環境

<日時> 2020 年 1 月 12 日 (日) 10 時 30 分～17 時 00 分

<場所> 国文学研究資料館 2 階 オリエンテーション室 (東京都立川市緑町 10-3)

<プログラム>

10:30 趣旨説明：渡辺浩一 (国文学研究資料館)

10:40 報告 1：岩淵令治 (学習院女子大学)
江戸における都市民の防火意識

11:30 報告 2：デイビッド・ガリオック (モナシュ大学[オーストラリア])
ヨーロッパの都市における火災：1600-1800 年

12:20 昼食 (60 分)

13:20 報告 3：チャバ・カトーナ (ハンガリー国立アカデミー上級研究員)
1838 年におけるブダペスト大水害

14:10 報告 4：渡辺浩一 (国文学研究資料館)
1742 年江戸大水害と奥多摩溪谷

15:00 休憩 (20 分)

15:20 コメント 1：堀地明 (北九州市立大学)
清代北京の災害

15:35 コメント 2：澤井一彰 (関西大学)
1563 年におけるイスタンブル大洪水との比較の視点から

15:50 コメント 3：平野淳平 (歴史気候学、帝京大学)

16:05 コメント 4：ロレンツァ・ジャンフランチェスコ
(近世イタリア文化史、チチェスター大学[イギリス])

16:20 全体討論

17:00 閉会

英語の報告には翻訳を配信しますので、1 月 9 日 (木) までに、renkei.office★gmail.com (★を@に入れ替えて下さい) まで参加申し込みを行って下さい。

質疑・討論には逐次通訳が付きます。

日曜日のため館内で昼食を購入することができません。ご注意ください。

主催：人間文化研究機構広領域連携型基幹研究「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的研究」(代表渡辺浩一、2016-2021 年度)

科学研究費基盤 B (一般)「自然と人間の相互関係史としての近世都市災害研究」(代表渡辺浩一、2018-2022 年度、課題番号 18H00707)

共催：比較都市史研究会